



# 小松ロータリークラブ会報



第50年度 第7号  
2005年2月10日発行

[2004~2005年度 RI会長テーマ]

ロータリーを祝おう  
100年の歩み

ロータリーを  
祝おう

100年の歩み

- 会長：牧野總太郎
- 副会長：山本 正敏
- 幹事：上出 衛二
- 会長リト：塚本 幹雄

## ロータリー誕生日 明治38年2月23日

同日の北國新聞紙面（北國新聞社蔵）  
日露戦争（旅順封鎖中）



右端に米原富山間の汽車発車時刻表の掲載有り  
小松駅発 午後8:00 金沢駅着 8:58 等  
1日4往復であった。

例会案内：小松グランドホテル「蘭の間」 毎週木曜日 12時30分~13時30分

事務所：〒923-0957 石川県小松市本折町33 小松グランドホテル2F  
TEL/0761-24-1340 FAX/0761-24-4700 Email: komaturc@plum.ocn.ne.jp  
http://www.rotary2610.jp/komatsu/

## ■ 会長報告 牧野小松RC会長



小松東RC、小松シティRC、小松RCの3クラブの皆さん、新年明けましておめでとうございます。去年は、国内においても災害が多発しましたが、年末のスマトラ沖地震による津波災害は目を覆わんばかりの悲惨なものでした。亡くなられた方に哀悼の意を表し、被災地域の一刻も早い復旧を願うものです。

新年は、世紀の中で最も大きな節目です。大いに祝い気を新たに仕事に精を出していただきたいと思います。併せて世界の平和のためにご尽力願いたいと思います。今月の「ザ・ロータリアン」では、迫り来る危機として「水」を取り上げその特集をしています。災害の時だけでなく、日常においても水を意識していただきたいのです。

このあと国際ロータリー100周年を祝った懇親会があります。大いに親睦を深めていただきたいと思います。

## 新春3RC合同例会懇親会 (小松ロータリー主催)

於：小松グランドホテル 17：50開宴

懇親会は、まずご祝儀として今重造さんらによる津軽民謡と津軽三味線の演奏などが行われ、次に牧野小松RC会長の開宴挨拶（後記）、ご来賓の西村小松市長、河越小松商工会議所会頭の祝辞に続き、萩野小松LC会長による乾杯により祝宴に入りました。ご来賓、RC会員による新春にふさわしい和やかな交流が行われた後、浅倉能美RC会長の万歳三唱、全員による「手に手つないで」の合唱が行われ、締めくくりとして塚本小松RC会長エレクトの閉会挨拶で終宴となりました。

## ■ 開宴挨拶 牧野小松RC会長

ロータリーは、来る2月23日をもって100周年となります。この間のロータリーの活動を振り返ってみますと、1945年に国連憲章の作成に当たり49名のロータリアンがこれにかかわっています。また、1942年のロンドン大会において各国の文部大臣(教育相)を招いて決議が行われ、この決議がその後のユネスコの原動力になっております。近年では、1985年にロータリーの1クラブが始めたポリオ撲滅運動が現在ロータリーの最大事業になっています。これら先人の偉業に敬意を表し、かつ祝おうというのが100周年の趣旨であります。

今年度の主張として、ロータリー家族というのがあります。人類は大きな一つの家族であり、全家族が幸せで平和でなければ、個人の幸せと平和はないというものです。ロータリーは、これからも地域社会、世界平和に貢献したいと思います。お集まりの皆様にはぜひお力添えをいただきたいお願いいたします。





■ 会長報告 牧野会長

先月16日に上出幹事と南会員の見舞いに行き、その足で辰口に行って伊東会員にも会ってきました。二人とも元気でした。後ほど表彰がありますが、米山功労者の那谷、堀両会員、ロータリー財団寄付の松多、八十山、中橋各会員には本当にありがとうございました。

今月はロータリー理解推進月間ということなので、日本で最初のロータリークラブである東京クラブの創立前後のことについて触れてみたいと思います。1914年に三井銀行の米山梅吉氏が財政調査団の一員としてダラスに行き、当地で三井物産の福島喜三次氏からロータリーの話聞き感銘を受けて帰ってきました。1920年に福島氏が帰国し米山氏と相談して東京クラブを創立したのですが、当時はまだ会員の定款や会則等に対する関心が薄く、出席率が悪くて潰れそうだったということです。ところが、1923年9月に関東大震災が起こり大変な被害が出ました。その時、アメリカ、イギリス、カナダなどのロータリークラブから多額の義援金が寄せられました。それ以降、定款どおり毎週例会が開かれるようになり、出席率も良くなったということです。地震がロータリーを救ったということでしょうか。



■ 幹事報告 上出幹事

ロータリーレートは1月1日から102円です。ニコボックスが昨年に比べ少ないのでご協力をお願いします。スマトラ沖地震災害については、地区から連絡があり次第義援金の募集をしますので、よろしくをお願いします。

■ 委員長報告 1 堀国際奉仕委員長ほか

本年度の米山功労者として、那谷、堀両会員に記念品の贈呈が行われることになり、出席の堀会員に会長から贈呈されました。

また、ロータリー財団から松多、八十山、中橋各会員に記念品等の贈呈が行われることになり、出席の中橋会員に会長から贈呈されました。



那谷 忠雄 会員

■ 委員長報告 2 朝日会員増強委員長

増強委員会としては、かなりの人に入会をお願いしているが、なかなか入会者が得られないので、情報がありましたらぜひお寄せいただきたいと思います。何とか増強目標を達成したいのでよろしくをお願いします。

1月誕生祝



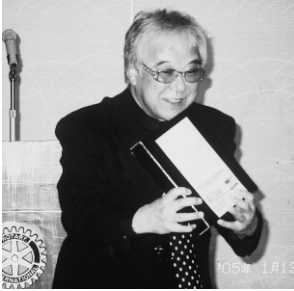
- 1日 滝 幸一 会員
- 2日 那谷 忠雄 会員
- 2日 安井健次郎 会員
- 19日 和田 雄市 会員
- 20日 伊東 清雄 会員
- 20日 本村 公志 会員
- 25日 竹田 栄太郎 会員
- 26日 松多 伸悟 会員

卓 話

『年男にちなんで』

徳 田 八十吉 会員

今年が酉年ですが、酉は私にとっても徳田家にとっても重要な干支です。私の祖父(初代 徳田八十吉)は、明治6年の酉年の生まれで昭和31年に82歳で亡くなりました。生まれた5人の子は全員死んでしまい、私の父(二代 徳田八十吉)は養子です。私が3歳のとき妹が生まれ、その時から私は1階の祖父母と一緒に寝起きするようになりました。その頃のことですが、障子の棧につかまり欄間を潜り抜ける遊びをしていて彫刻のハスの枝を折り、これは大変なことをしたと思っ



たのが一番古い記憶です。父にはひどく叱られ殴られました。そのとき、祖父は何も言いませんでした。私にはかばってくれたという記憶が微かにあります。

小学1年生のとき、祖父に連れられて正月の五社参りをしました。祖父は、お前に橋渡ししたよと言って、その後は一切お参りはしなくなりました。それ以来、私は毎年正月に五社参りを欠かしたことはありません。その頃から祖父は、私に焼物を見せるようになりました。焼物を見せる時は、必ず小遣いかお菓子をくれました。小松には「絹着たり、こも着たり」という言葉があるように、金を儲けると茶道具を買い求め、金がなくなるとそれを売るという慣例があり、寺や料亭でいつも市が立ちました。そういう場所に私はしょっちゅう連れていかれました。また、祖父のもとには鑑定をしてくれとか、箱書きをしてくれといって焼物を持参する人が絶えませんでした。そういう席にも私は付き合わされました。私の目的はもちろん小遣いとお菓子なのですが…。

そういうことで、特別に勉強したわけではないのですが、本物を数多く見せられていると偽物ができるようになるものです。私が33歳のとき、青年会議所の10周年で古陶器の展覧会が開かれることになり、いろいろな事情があって、私が陳列する作品を選ぶことになりました。子どもの頃からの経験が生かされたというものです。

私は、大学生のとき自由な生活を求めて家を飛び出してしまいました。そのうち、祖父が倒れたといって迎えがきました。祖父は意外と元気で私にタンスの中から手帳を出してくれと言い、その手帳をもとに色の調合を教えてくださいました。祖父は、この手帳があれば一生メンが食える、だれにも見せるなどと言いました。祖父が亡くなってから手帳を出して見ましたが、すべて暗号で書かれていて分かりません。そのうち、暗号は梵字であることに気付き、数字を置き換えることにより解読することができました。

24歳のとき、苦しくてしょうがなく山へ入り半年間反省をしました。自分が他の人と違うものは何かと考えたとき、私には九谷焼しかないと思うようになりました。そして、山を下り九谷焼に専念する決心をしました。それまでに学生時代を含め10回も展覧会で落選しており、遅れたスタートだったと思います。

祖父は私が日展に出品して初落選した作品を3,000円で欲しいという人がいるから売ってやれと言ったことがあります。3,000円は大金だったので、私は喜びました。ずっと後になって、ハナヨシさんの店の隅に埃をかぶっているのを見つけ、聞いてみると、祖父が置いてくれと言って持ってきたものと分かりました。私は祖父に巧妙に育てられたのであり、私の今日は祖父を抜きにしては語り得ません。

---

**2435回** 1月20日 於 小松グランドホテル

### ■ 会長報告 牧野会長

15日に小松青年会議所の新年会に行ってきました。参加されていた韓国J Cの若い女性会員が民族服で正装をしていたのに感動しました。19日の明るい選挙書道コンクールの審査に代理人として湯浅外志男さんに行ってくださいました。

RI会長が9月に日本に来られ29～30日に高輪のプリンスホテルで祝賀会が行われます。参加人数の余裕が若干あるとのことですので、希望者は2月25日までに申し出てください。また、シカゴ国際大会の参加希望者も申し出てください。2003～2004年のロータリー財団の年次報告が届きました。その中に寄付上位20か国というのがあり、日本は2番目で、韓国が3番目です。

次に理事会報告です。ロータリー財団の補助金については、前川堤防の植樹と前川の沈没船引揚げを申請することになりました。補助金は事業費の半額です。ガバナー顕彰「一隅を照らす」の推薦依頼に対しては、該当者なしとしました。

---

## ■ 幹事報告 上出幹事

地区からロータリー100周年を祝う会が開かれるとの通知があったのでお知らせします。開催日は2月23日で、内容は第1部が合同例会、第2部が記念講演（講師・アグネスチャン）、第3部が演奏会、第4部が懇親会です。会場は第1部～第3部が県立音楽堂コンサートホール、第4部が全日空ホテルです。個別に案内はしませんので、参加希望者は2月7日までに事務局にご連絡ください。登録料5,000円、懇親会費5,000円です。

## ■ 委員長報告 国際奉仕委員会

本年度米山功労者の加登康洋会員に記念品の贈呈が行われました。



加登 康洋 会員

## 卓 話

## 『美術館が街をつくる』

金沢21世紀美術館 館長 蓑 豊 様



私の信念は、やろうと思ったらトコトンやるというものです。専門は中国の陶磁器で、長らくアメリカ、カナダで美術関係の仕事に就いていました。ちょうど2年前に、大阪市立美術館の館長をしていたところへ、山出金沢市長が来られ美術館の仕事を手伝ってくれと頼まれました。金沢はあまりよく知りませんでしたが、私の生まれた土地でもあり、これを引き受けることにしました。

私が考えたことは、まず子供に来てもらう美術館でなければならないこと、伝統的な美術品を展示するのではなく創作現代美術を対象にしてメトロポリタンやルーブルでやらないことをやること、美術館が街をつくるようなものにする、という内容でした。そして、山出市長にお願いして金沢市内の小・中学生41,000人全員に来ていただくこととし、そのための予算5,000万円も確保してもらいました。

昨年10月9日に開館してから入館者は既に50万人に達しており、全国的に話題になっているほか、世界的にも注目されています。今や子供が美術館に親を連れてくるという時代であり、これを更に進めて美術館が生活の一部になるようにしたいものです。美術の鑑賞は必ず子供の感性を磨くことになります。大リーガーのイチロー選手は、子供のころから、宿泊のときに自分の靴を磨き、ユニホームをきちんとたたんで寝たということですが、これも感性がなせる技だと思います。美術館の経済効果も建設費の113億円を超えることは確実であり、デパートの売上げ、商店街の活性化にも貢献しています。

美術館では、来館した子供に再来館の時に使用できる無料券を渡しています。これによりその子供が親や友達を連れて再来館することを期待しています。また、300人位のボランティアを確保し、子供たちを10人位のグループに分けてボランティアが分かりやすく説明するシステムをつくります。ぜひ、美術館を皆さんの応接間のように使っていただきたいと思います。

(紹介者 上杉 豊明会員)

2436回

1月27日

於 小松グランドホテル

## ■ 会長報告 牧野会長

昨日、明るい選挙書道コンクールの表彰式に山本副会長に行っていました。今日はポール・ハリスの命日です。ロータリーの友12月号にポール・ハリスの言葉として「優れた人生哲学はお金に勝り、順境の時でも逆境の時でもよく役に立ちます。不思議なことに、世界不況の時に自殺した人たちは、都会の貧乏人ではなくて、むしろ暮らし向きのよい金持ちが多かったのです。



つまり金持ちの多くは、自主的に生きていく哲学に欠けていたのです。」というのが載っていますが、含蓄のある言葉です。

10年程前から21世紀は「〇〇の時代」と言われていましたが、今日の演題にある地方の時代というのもその中の一つでした。いずれも行政に関するものですが、民間の方からお聞きできるので心待ちにしておりました。

22日に経済財政諮問会議から「日本21世紀ビジョン」の中間報告案が発表されました。ミニフォーラムなどで議論したらよいと思います。

#### ■ 委員長報告 中西親睦委員

5月20日の蒲郡クラブとの合同例会は、愛・地球博会場内のロータリー館で行われます。17時30分点鐘の予定です。宿泊の手配などもあるので、早目にご連絡ください。できるだけ多くの方の参加を期待しています。

### 卓 話

## —21世紀は地方の時代— 『元気な町の元気の秘密』

京とうふ藤野株式会社 代表取締役社長 藤野 清治 様



私は、小松の生まれで小学校6年のとき一家で京都に生まれました。現在、とうふ職人の父の跡を継いでとうふ製造の仕事をしています。

京都のすごさはブランドにあります。お茶の三・千家、お花の池坊、東西・本願寺、これらはすべてブランドです。シャネルの社長が京都に来たとき、京都を見習っていると言っていました。今は、地方から発信する情報が新産業、新産品を生みます。事業を行う者にとっては情報と人が武器です。情報は新鮮でなければならない。今日新鮮でも明日は新鮮でないかもしれないし、いろいろな情報はいくらあっても役に立たないので、何が新鮮で必要な情報かを選別しなければなりません。また、情報はその価値が分からない人には何の意味もないものです。そして、情報は発信するところに集まってくるものです。

私の事業は、とうふの製造が主ですが、食の系統の仕事は何でもやります。食は人に良いと書きます。食に関するプロデューサーと思っています。食品には土壌があり、伊勢の赤福、京都の漬物のように名所に名物あります。また、風と気を読むくせをつけることが必要です。風とは、風味、風土、風情、風習であり、気とは、本気、根気、勇気です。

元気な町の元気の秘密は、人が元気であることです。社長業をやっているとクレームがよくきます。誠意を見せいと、社長を出せと言ってきます。部下に説明を求めると、でも…、しかし…、実は…、などと言いつつ、つい納得させられそうになります。これを跳ね除けるのが社長の役目であり、そうでないと会社は良くならないのです。自分を売れない社長は自分の会社で作った物は売れない、いくら良い物でも熱意がないと伝わらないのです。社長は自ら演出をし主演をやる、そういう構成ができないと失敗します。

### 第 2433 回 例会報告

2005年 新春3RC 合同例会

1月8日(土) 17:30

於：小松グランドホテル

会員数 72名 出席数 58名

欠席数 14名 出席率 80.56%

#### ☆ゲスト紹介

小松市長 西村 徹様

小松商工会議所会頭 河越 清次様

小松市教育長 矢原珠美子様

国際ロータリー第2610地区パストガバナー 仲谷 純三様

小松ライオンズクラブ会長 萩野 周作様

小松ライオンズクラブ幹事 橋 謙治様

小松中央ライオンズクラブ会長代理 小西 章一様

小松中央ライオンズクラブ幹事 中川 昇様

小松青雲ライオンズクラブ会長 川岸 久輝様

小松青雲ライオンズクラブ幹事 魚江 泰守様



小松青年会議所理事長 中田 浩大様  
 小松青年会議所専務理事 南藤 陽一様  
 能美ロータリークラブ会長 浅倉 秀身様  
 能美ロータリークラブ幹事 上田 宏一様  
 北國新聞社小松支社長 一森 孝彦様  
 北陸中日新聞社小松支局長 山本 義之様  
 小松工業高等学校校長 山守 志朗様  
 小松工業高等学校IAC顧問 森 洋子様  
 小松商業高等学校IAC顧問 中村 依子様  
 小松市立高等学校校長 北本 健様  
 小松市立高等学校IAC顧問 河合真佐江様  
 北陸大谷高等学校校長 坂倉 佳彦様  
 小松ローターアクトクラブ会長 北市 実様  
 小松ローターアクトクラブ幹事 平下 俊行様  
 米山奨学生 李 毅 様  
 米山奨学生 Paul Narayan Chandra 様  
 交換学生 (ポール ナラヤン チャンドラ)  
 Sara Wick 様 (サラ ウィック)

☺ ニコニコBOX

小松JC理事長 中田様  
 小松JC専務理事 南藤様  
 小松ローターアクトクラブ  
 小松ライオンズクラブ  
 小松中央ライオンズクラブ  
 小松青雲ライオンズクラブ  
 小松工業高校、小松商業高校、小松市立高校  
 北陸大谷高校、能美ロータリークラブ  
 小松市長、小松市教育長、商工会議所会頭  
 北國新聞社、北陸中日新聞社  
 浅倉秀身(能美RC会長)…あけましておめで  
 とうございます  
 上田宏一(能美RC幹事)…本日はお招きいた  
 だきまして、まことにありがとうございます。  
 中田武太(小松東RC)…世情不安な今日こそ  
 ㊦の出番です。たかが㊦されど㊦。小松R  
 Cのホストに感謝致します。  
 西田広昭(小松シティRC)…あけましておめ  
 でとうございます。楽しい新年の懇親会を  
 ありがとうございます。  
 木崎馨山(小松東RC)…国際R100周年3RC  
 合同例会牧野小松RC会長のお勤めご苦労  
 様有難う。  
 中田一於…親睦委員会の皆様お世話様でした。  
 私のテーブルにも小松東RCのチェ・ジュウ

(かぶらき)がいました。楽しかったです。

第2434回 例会報告

1月13日(木) 於：小松グランドホテル  
 会員数 72名 出席数 54名  
 欠席数 18名 出席率 75.00%

☆メイクアップ届

12/17 蒲郡RC 本田・法師・牧野・安井会員  
 1/11 第7回ミニフォーラム 朝日・中田  
 中橋・生水・滝本・山崎・湯浅外会員

☺ ニコニコBOX

徳田八十吉…在籍30年の表彰を受けました。  
 あっというまの事でした。  
 杉本雅規…今年になって3つの良い事があり  
 ました。(1)娘が成人式を迎えた事 (2)息子が  
 京都薬科大学に入学した事 (3)2月1日に矢  
 田野町にいちご薬局が新築オープンする事  
 この記念にR財団に寄付したいと思えます。  
 新築にあたり福島さん、吉田さん大変お世  
 話になりました。勤務地が加賀から小松に  
 になりました。皆さん遊びに来て下さい。  
 牧野總太郎…新年あけましておめでとござ  
 います。元気で頑張りましょう。  
 堀 伸市…米山功労者の、メダルの贈呈いた  
 だきありがとうございました。なお今回の  
 米山功労者の那谷さん、R財団の松多さん、  
 八十山さん、中橋さん御協力に感謝してお  
 ります。  
 上出衛二…徳田会員30年表彰おめでとござ  
 います。法師会員、先日の「あわづ湯の里  
 寄席」にお招きいただきありがとうございました。  
 大笑いしました。  
 上杉豊明…皆様あけましておめでとござい  
 ます。プログラム委員会を本年もどうかよ  
 ろしくお願いいたします。徳田先生、新年  
 早々お忙しいところ卓話まことに有がと  
 うございました。徳田先生は欄間ですが私の  
 イタズラの最も古い記憶は小学3年生のこ  
 ろです。友達10数人でちゃんばらごっこを  
 して本堂の障子を全部みごとに破ってしま  
 ったことです。もちろん障子はゴミ箱の中  
 に隠せませんでした。先生の今後の御活

躍を念じ上げます。

石部千恵…徳田先生の若い頃お遊びで作ったお茶会席に使う手付き鉢がうちにあります。一度みて下さいネ

? …<とく>徳を積み <だ>大事に育てし <や>焼物に <そ>祖父より伝わる <きち>吉兆の技

## 第 2435 回 例会報告

1月20日(木) 於：小松グランドホテル  
会員数 72名 出席数 55名  
欠席数 17名 出席率 76.39%

### ☆ゲスト紹介

金沢 21世紀美術館 館長 蓑 豊様

### 😊 ニコニコBOX

山出仙人…<み>未来見て <の>のぞみはたかく <ゆ>夢ひろげ <た>楽しむ美術 <か>金沢にあり

牧野總太郎…蓑先生、吸い込まれるような素晴らしいお話していただき、目からうろこが落ちました。ありがとうございました。

上出衛二…蓑館長、小松 RC へようこそ、卓話ありがとうございました。

上杉豊明…蓑様本日は御多忙の中まことに有りありがとうございました。「美術館が街をつくる」という信念と特に次代を担う子供たちにと拍手を送ります。御活躍を念じ上げます。

## 第 2436 回 例会報告

1月27日(木) 於：小松グランドホテル  
会員数 72名 出席数 56名  
欠席数 16名 出席率 77.78%

☆ゲスト紹介 京とうふ藤野株式会社  
代表取締役社長 藤野 清治様  
小松東 RC 山腰 茂 様

### 😊 ニコニコBOX

山本正敏…会長代理で小学生、中学生対象の「小松市明るい選挙書道コンクール」の賞状授与式に行って来ました。おとなの世界のドロドロした選挙(清き票)より子供達の書の純粹さに感動しました。

上杉豊明…藤野様本日は御多忙のところ本当にありがとうございました。「食」というフィールドのプロデューサーとして御活躍さすがです。今度また御両親にお会いしますが、気性はお父さんゆずり。がんばって下さい。

豆 太郎…<フ>福を呼ぶ <ジ>自慢のトーフ <ノ>野のお肉 <セイ>生活必須の <ジ>滋養食なり

角谷俊隆…藤野さんようこそ小松へ。7月2日サンピア小松で又おもしろい話をPHPの会で聞けると思うと楽しみです。

牧野總太郎…藤野様、楽しく有意義なことをお話いただきまして有難うございました。

上出 衛二…藤野社長、遠路ようこそ小松ロータリークラブ例会にて卓話ありがとうございました。

八十山和代…藤野さん、ユーモアたっぷりにおそろしく貴重なお話しありがとうございました。近々又絵を持っていきます。

### ●シリーズ

## お宝拝見

法師善五郎会員

赤絵四方仙人獅子撮香爐  
中国明代(万暦年間作)

大正13年3月 金沢横山男爵家所蔵入礼品。  
当時の2万810円で落札されたものを約30年前、偶然手に入れたものである。

